



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち

議会だより

 可否同数 (議長裁決) P5



青空の下でハイポーズ (認定こども園あさがお保育園)

目次

3月定例会報告・現場踏査・討論本会議	… 2P～5P
全員協議会Q&A	… 6P～9P
議員9人が一般質問	… 10P～18P
出欠状況・自治功労賞受賞・表紙の写真	… 19P
がんばってます！・編集後記	… 20P



大好きなお弁当の日

こんなことを審議しました。

3月定例会

会期／3月6日～19日

専決処分の承認

越前町手数料徴収条例の一部改正について

戸籍法の改正により、本籍地以外での戸籍謄本等の交付が可能となる「広域交付」や戸籍謄本等の添付の省略に利用する「戸籍電子証明書提供用識別符号」の発行事務に係る手数料を徴するため、条例の一部を改正する。

条例

越前町織田交流館・雨田光平記念館条例の廃止について

施設の老朽化に伴い、同機能を持つ織田文化歴史館に集約することから、条例を廃止する。

中学校空調整備

3,130万円

国の補助を受け、教育環境の改善を図るため、町内中学校の特別教室の空調設備に係る工事費等を計上する。



令和6年度当初予算

一般会計予算、前年度比

21億5千万円(17.5%)増

144億6千万円

未来にかがやく越前町のさらなる躍進に向けた予算として計上。

地域交流施設の整備

7億3,927万円

朝日地区の賑わい創出および地域や商工業者の交流を促進し、地域活性化を図ることを目的とした朝日地区のコミュニティの拠点となる施設を建設する。

ふるさと納税の推進

4億181万円

ポータルサイトによる寄附の呼びかけ、寄附者への返礼品として地場産品等の贈呈などを行う。

町政20周年記念式典事業

200万円

2025年2月で合併20周年を迎えるにあたり、記念式典を開催する。

朝日保健センター(朝寿殿)のエレベーター改修

3,169万円

2023年をもって部品の供給が終了となったため、使用中となっているエレベーターの改修を行う。

新規事業 住宅の太陽光・蓄電池設備導入の推進事業

302万円

二酸化炭素の削減を推進するため、太陽光発電設備等を導入する住宅の経費の一部を補助する。

指定管理者制度による観光施設管理運営

1億2,232万円

指定管理者制度による5施設(泰澄の杜、道の駅「パークイン丹生ヶ丘」、悠久ロマンの杜、オタイコ・ヒルズ、越前がにミュージアムマーケット棟)の管理運営委託と、観光施設の適正な維持管理を行う。

越前町の四大祭り

3,600万円

越前町の四大祭り(あさひまつり、越前陶芸まつり、越前みなと大花火、O・TA・I・KO響)に係る補助金を

計上する。

有害鳥獣対策

2,972万円

鳥獣による農作物への被害を抑制するため、防除活動と捕獲活動を組み合わせた総合的な対策を実施する。

町単独道路改良

3,265万円

道路の局所的な改良・拡幅工事等により、町道の改善を図る。

ふるさと移住促進活動

304万円

地域の魅力発信および移住体験ツアー、円滑な定住に向けての支援や受入体制の整備を図る。

国際交流一般事業

598万円

交流都市(アメリカ・モンテバロ市)、友好交流校(オーストラリア・バードウッド校)およびマレーシアとの相互交流活動を通じ、異文化理解等の促進と人材育成を図る。

定例会報告

町道路線の認定

国道365号梅浦バイパスの完成に伴い、旧国道区間を上高平2号線として町道路線に認定する。

指定管理者の指定

高齢者の生きがいづくりの推進や就労機会の促進、サービスの充実と効率的、効果的な運営を図るため、実績を考慮し町が所有する施設「幸若苑」および「陶寿園」の指定管理者に(社)越前町シルバー人材センターを指定する。

人事

越前町教育委員会委員の任命について

次の方の、任命について、全会一致で同意した。

春木 誠 一氏(内 郡)

越前町政治倫理審査会委員の任命について

次の方々の、任命について、全会一致で同意した。

塚本 稔 氏(気比庄)
向 當 一 郎 氏(江 波)
渡 邊 きみえ 氏(小 倉)
松 村 仁 氏(広 野)
山 下 三 紀 代 氏(小 樟)
河 上 重 春 氏(三 崎)

人権擁護委員候補者の推薦について

次の方々の、推薦について、全会一致で同意した。

上 田 守 氏(朝 日)
渡 邊 美 穂 氏(上 系 生)

議員発議

越前町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

議員の請負状況を公表することにより、請負状況の透明性の確保に資するため、条例を制定する。

越前町議会会議規則の一部改正について

地方自治法の一部改正により、議会に係る手続きのオンライン化に対応した改正等に伴い、規則の一部を改正する。

越前町議会委員会条例の一部改正について

地方自治法の一部改正により、議会に係る手続きのオンライン化に対応した改正および委員選任に関する規定の見直しを行うため、条例の一部を改正する。

3月議会定例会 現場踏査 (3月12日)



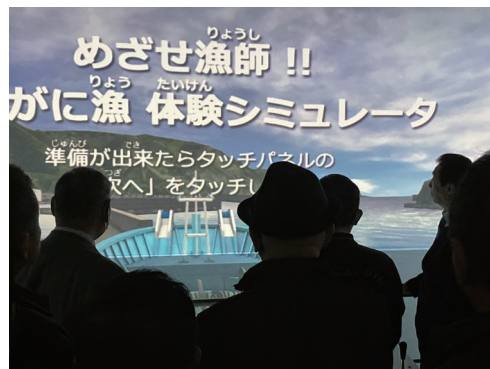
町道宝泉寺グラウンド線
道路改良工事 (天王地係)



地域交流施設整備事業
(西田中地係)



町営住宅上川去団地
解体工事 (上川去地係)



越前がにミュージアム
漁船シミュレーター更新工事
(厨地係)

こんなことを審議しました。

定例会報告

3月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	報告のみ
報告第2号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	〃
報告第3号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	〃
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度越前町一般会計補正予算（第15号））	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度越前町一般会計補正予算（第16号））	〃
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（越前町手数料徴収条例の一部改正について）	〃
議案第1号	越前町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議案第2号	越前町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び越前町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
議案第3号	越前町監査委員条例及び越前町国民健康保険織田病院の設置等に関する条例の一部改正について	〃
議案第4号	越前町個人番号の利用に関する条例の一部改正について	〃
議案第5号	越前町防犯隊設置条例の一部改正について	〃
議案第6号	越前町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	〃
議案第7号	越前町介護保険条例の一部改正について	〃
議案第8号	越前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	〃
議案第9号	越前町漁港管理条例の一部改正について	〃
議案第10号	悠久ロマンの杜条例の一部改正について	〃
議案第11号	越前町営住宅条例の一部改正について	〃
議案第12号	越前町地域ぐるみによる空き家等対策の推進に関する条例の一部改正について	〃
議案第13号	越前町国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案第14号	越前町立学校条例の一部改正について	〃
議案第15号	越前町新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の廃止について	〃
議案第16号	越前町織田交流館・雨田光平記念館条例の廃止について	〃
議案第17号	公の施設の指定管理者の指定について（越前町老人福祉センター「幸若苑」及び越前町老人憩いの家「陶寿園」）	〃
議案第18号	町道路線の認定について	〃
議案第19号	令和5年度越前町一般会計補正予算（第17号）	〃
議案第20号	令和5年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第21号	令和5年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第22号	令和5年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第23号	令和5年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	〃
議案第24号	令和5年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第25号	令和5年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第26号	令和5年度越前町温泉事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第27号	令和5年度越前町上水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第28号	令和5年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第29号	令和6年度越前町一般会計予算	〃
議案第30号	令和6年度越前町国民健康保険事業特別会計予算	〃
議案第31号	令和6年度越前町介護保険事業特別会計予算	〃
議案第32号	令和6年度越前町後期高齢者医療事業特別会計予算	〃
議案第33号	令和6年度越前町温泉事業特別会計予算	〃
議案第34号	令和6年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計予算	〃
議案第35号	令和6年度越前町土地区画整理事業特別会計予算	〃
議案第36号	令和6年度越前町水道事業会計予算	〃
議案第37号	令和6年度越前町下水道事業会計予算	〃
議案第38号	令和6年度越前町国民健康保険病院事業会計予算	〃
同意第1号	越前町教育委員会委員の任命について	同意
同意第2号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意第3号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意第4号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意第5号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意第6号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意第7号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	〃
同意第8号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
同意第9号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
発議第1号	越前町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可決
発議第2号	越前町議会議事規則の一部改正について	〃
発議第3号	越前町議会委員会条例の一部改正について	〃
請願第1号	UPZ内の安定ヨウ素剤事前配布（一定要件付き）を求める請願	閉会中の継続審査

討論本会議

議案第 29 号 令和 6 年度越前町一般会計予算

※主に「地域交流施設の建設」を軸に討論が展開されました。



反対討論 1 【米沢議員】

地域交流施設の総事業費は、建設工事や備品購入などで7億5,883万円が計上された。
新たに建設する施設には整備費だけでなく、その後のランニングコスト、数十年後の大規模改修、設備の取替え、解体などに多額の費用がかかってくる。
人口減少が進むなか、それらが「我々の子孫にとって負の遺産になるのではないのか」、今一度施設の必要性を考え直すべきである。
朝日地区には、新庁舎、生涯学習センターやカメリアホール、朝寿殿など、地域交流施設と類似した機能を有する公共施設があり、これらの活用により、代替可能であると考える。

当案件について、これまで住民に対し説明不足であり、多くの住民の意見や考えを聞いているとはとても思えない。
地域交流施設の建設は、「木を見て森を見ず」であり、以上の理由から反対の立場である。



賛成討論 1 【笠原議員】

地域交流施設の建設は、にぎわいの創出、地域や商工業者の交流促進を図るため、朝日コミュニティ、商工会朝日支所、西田中区公民館の機能を併せ持つ複合施設として整備をしていくということ、これまで議会としても説明を受け、設計の承認をしてきた。
地域交流施設建設に係る予算は、物価高騰なども考慮すると適正であり、今後の人口減少を見据えた場合、現在の区単位での集会施設の維持管理は困難になることから、新しい時代のまちづくり拠点として全町民の方々に活用してもらええる施設になるとの説明も受けました。

私が住んでいる田中区も集会施設の建て替えが将来的には困難であることから、地域交流施設の利用が賢明であると話を進めているところである。

この当初予算には、町民生活にとって必要な事業が多数計上されていることもあり、私は、当議案に賛成する。



反対討論 2 【長谷川議員】

この議案について、理事者側からいろいろと提案されたが、十分に理解できるほどのものはいただいていない。
人口が現在の約2万人から、25年後には1万2千人にまで人口が減ってしまうこと、財源が乏しくなることが分かっているのに、将来の子どものために、こんなことをしてよいのかと私は思う。

地域交流施設には、こういう機能やこういう意図があるというのであれば、段階を踏んで目に見える形で示していただきたい。



賛成討論 2 【小松議員】

一般会計当初予算には、地域交流施設のみならず、町民生活に欠かすことのできない予算などが多く含まれている。
地域交流施設については、生涯学習センターの使用頻度も高く、手狭になっていくことから、朝日地区には必要不可欠な施設であると考える。

理事者側からは、令和3年度から議会に対して説明を受けており、これまで議会と十分な議論があったものと認識している。

よって、私は、当議案に賛成する。

賛否が分かれた議案

(賛成：○ 反対：× ー：欠席)

議案番号	件名	議決の結果	小松議員	吉田議員	石田議員	長谷川議員	中西議員	高田議員	藤野副議長	米沢議員	佐々木議長	伊部議員	笠原議員	木村議員	北島議員
議案第 29 号	令和 6 年度越前町一般会計予算	可決 (可否同数) (議長裁決)	○	ー	×	×	×	×	○	×	○	ー	○	○	○

全員協議会での予算審議 Q&A

※全員協議会の内容を一部抜粋して掲載

条例改正・補正予算

地域おこし協力隊について

吉田議員

空き家対策をしていた地域おこし協力隊の方が退任される。今後地域おこし協力隊の配置を考えているのか。

定住促進課長

現在、地域おこし協力隊の配置は考えていない。

佐々木議長

採用予定がないというのは、どういう理由か。

建設理事

町として、具体的に地域おこし協力隊の方に取り組んでいただく内容を精査した上で、必要であれば、募集をかけたい。



ふるさと再生基金（ふるさと納税）の運用方針について

高田議員

財政調整基金が5億2千万円積み上がったが、内実は、ふるさと再生基金から13億7千万円の取り崩しにより様々な事業に充てられたことが影響したからだと考える。財政上、何らかの運用方針があるのか。

副町長

ふるさと納税は、寄附をいただいた近い年度において、目的に合った事業に充てていこうという意図で行っている。結果的に財調が積み上がったと考えている。

高田議員

ふるさと再生基金は、これまで各年度で積み立てた以上の取り崩しはしてこなかったが、2023年度は、積み立てた以上に取り崩したため前年度末残高より減少となる。仮に、ふるさと納税制度がなかったら、実質単年度収支は赤字である。

ふるさと納税



当初予算

総務部門

ふるさと納税を前提にした予算組みの見解

高田議員

当町の経常収支比率は、100%（2023年度末）を超える見込みであり、近年の実質単年度収支も決して良くないのに、収支の均衡が取れているのは、ふるさと納税のおかげである。不確定要素の多いふるさと納税を前提にした予算組みについて、どういう見解なのか。

町長

財政状況が厳しいのは間違いない、不安定要素のあるふるさと納税に頼った予算編成になっているのも事実。すぐにやめることはできないが、今後、少しずつ是正し、健全財政を目指していく。



前年度比21億5千万円増加、どこに向かっているのか

高田議員

数年後には公共施設やインフラ更新等の大きな山が見込まれているが、特に山でもない2024年度の一般会計予算が前年度比21億5千万円（17.5%）増加した。

大幅な財調の取り崩し、起債、ふるさと納税を前提にした予算組みであり、アクセルの振れ幅としては大きい。当町は、どこに向かっているのか。

町長

人口減少が進んでいるなか、越前町に定住してもらおうということ、少子化に歯止めをかけたいという方針で考えている。

町政20周年記念式典とは

石田議員

町政20周年記念式典は、どのようにどこで行うのか。

総務理事

今回、招待者数を絞りコンパクトに開催予定であることから、カメリアホールが適切だと考えている。

全員協議会での予算審議 Q&A

※このページでは、今定例会で最も論点になった「地域交流施設の建設」を掲載

町民が知らないのでは

米沢議員

3団体(朝日コミュニティ、商工会朝日支部、西田中区)が入り、全町民の交流のためといわれる施設が、7億円かけて建設されることを越前地区の住民はほぼ知らないが。

総務理事

建設前の設計を進めている段階での情報発信は少なかった。整備後、いろんな形で地域の方々に活用していただけたと考えている。

地域交流施設の必要性は

米沢議員

20年後には、人口が1万3千人になると予想されている。建設では、合併特例債などが使えても、坪単価179万円、7億円もの施設の膨大な維持管理等は、将来にわたり町民が負担していくことになる。

よく似た機能が、新庁舎、生涯学

習センターやカメラリアホール、朝寿殿にもあるが、それらではほとんど不便なのか。

町長

地域交流施設をあの場所に建てる必要性には、朝日コミュニティと隣にあるデイサービスで多世代交流ができることにある。

本庁舎建設が坪単価125万円であり、その後の物価上昇により、1.4〜1.5倍に高騰したことから、坪単価179万円は一般的な建築単価であると考えている。

特に人口が減っていく地区は集会施設を持てなくなるので、この施設利用により地区の負担を減らすことができ、将来的には役に立つ施設だと考えている。



各地区との話し合いは

高田議員

将来的に各地区の集会施設としての利用が建設目的の一つであるならば、これまでに各地区と話し合いはできているのか。

総務理事

記憶が確かでない。

「チャレンジカフェ」を設けた経緯は

米沢議員

1階にチャレンジカフェ、厨房、喫茶スペースがある。起業を目指す人が、ここでチャレンジしてから起業するとの説明を受けたが、どういった経緯でできることになったのか。

企画振興課長

詳細設計に入る前に、コミュニティ運営委員会などの団体から、建物にどういったものが必要か意見をいただき、コンサル等を含め検討し、チャレンジカフェを設けることにした。

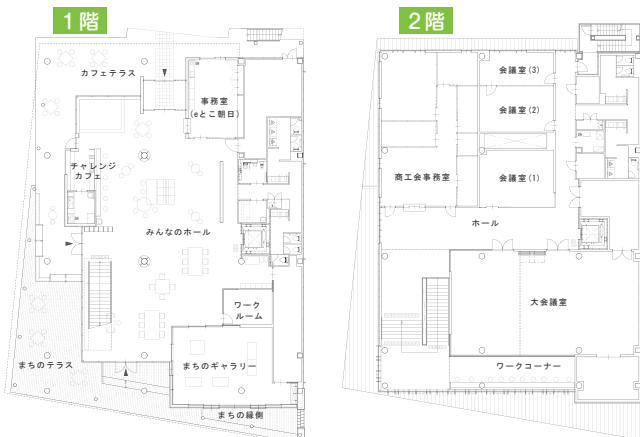
使う側の負担のあり方は

石田議員

もともとは、商店街活性化拠点ということだった。今は全ての地域のためと言っているが、西田中のものにしか聞かえない。町が建てて備品購入も全部含めて先にあるりきで、使う側の負担のあり方も分からない。

副町長

越前町行政財産の使用料に関する条例に基づき、使用後に使用料として徴収する。



全員協議会での予算審議 Q&A

民生部門

コロナワクチン接種や
感染対策について

笠原議員

コロナワクチン接種は全額個人負担になるのか、コロナの感染者が増えたらどうしていくのか。

健康保険課長

助成に関して、今後、各市町と協議後に補正でお願いしようと考えている。ワクチン接種の目的は、重症化予防であり、爆発的に感染が増えた場合、国の方針に従って対応していきたい。

0歳児からの
保育所入所の傾向等は

吉田議員

当町の0歳児からの保育所入所の傾向と、保育士不足の実態は。

民生理事

0歳児からの保育所入所は、増加傾向にある。

保育士の確保については、あらゆる手段を活用して求人を行っているが応募がないのが実情で、継続して募集をかけている状況である。

朝日保健センター(朝寿殿)の
車庫移設とエレベーター改修

高田議員

地域交流施設建設工事で駐車場の共有になることから車庫の移設を行うのに、なぜ朝寿殿の事業になるのか。

副町長

地域交流施設の利便性上がるということでの移設を行うのだが、車庫の所有者からも移設の要望があったから。

高田議員

朝寿殿のエレベーター改修に、3千万円以上の予算を組んでいる。2階には、会議室を含め様々な機能があるが、今後の施設活用の方性は。

副町長

避難所等で活用していきたい。



産業部門

指定管理において民間のノウハウが活かされているのか

吉田議員

指定管理業者というのは民間のノウハウを取り入れ、自治体ではできないことをしてもらおうということが前提だが、町としてどのように指導しているのか。

産業理事

年に1回、運営協議会にて運営状況を審議している。また、随時ヒアリング等を行い、より良い施設運営に向けて協議を進めている。

悠久ロマンの杜、朋楽館
改修の目的は

高田議員

悠久ロマンの杜にある朋楽館は、どういう目的で改修を行うのか。

商工観光課長

施設内を靴のまま行き来でき、物販(キャンプ用品等)や、飲食提供(サンドイッチ等)などができるように考えている。

四大祭りについての検討

佐々木議長

旧町村による四大祭りについて、各900万円の補助金(合計3,600万円)でやっているが、以前とは状況が変化してきている。それだけの補助金がなければ成り立たないのか、今年中に検討して欲しい。

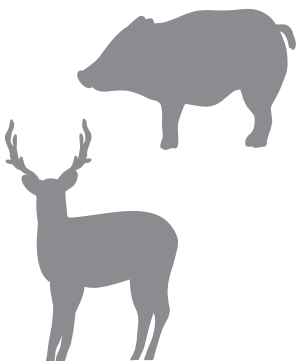
有害鳥獣の処理施設について

笠原議員

有害鳥獣対策について、処理施設がないことで困っているという話を聞くことがある。嶺南にはあるが、丹南地域などで共同の処理施設ができないのか。

産業理事

以前から丹南地域で処理施設をつくる検討はあるが、具体的には進んでいないのが現状である。



全員協議会での予算審議 Q&A

建設部門

町道の維持補修の対応は

佐々木議長

町道の維持補修について、各地からの要望に対応できているのか。

建設理事

町単独事業については、9割以上は対応できており、一部、待つてもらっている状況である。

移住体験ツアーでの宿泊先は

木村議員

移住体験ツアーでの宿泊先について、町内の旅館へ宿泊を考えているということだが、オタイコヒルズ、泰澄の杜、若竹荘などの宿泊ができる公共施設等の利用は考えていないのか。

建設理事

移住体験ツアーは、町の観光連盟に委託して事業を実施する予定である。町内の旅館を宿泊先にするという前提で提案を受けているが、詳細については、今後、観光連盟と検討したい。

温泉使用料の支払いと
停水措置

佐々木議長

温泉使用料をずっと以前から支払わないというケースがあると聞いているが、どうなのか。

建設理事

現在、温泉を使用されていて、使用料を全く支払っていないケースはない。

笠原議員

水道料金を支払わなかった場合は停水になるが、温泉も同様なのか。

建設理事

温泉も3か月以上滞納で停水措置をとっているが、分割納付の約束があれば停水措置はとっていない。

デザインマンホールについて

木村議員

マンホールをデザイン化して、下水道事業の理解促進につなげている自治体もあるが、このことについてどう思うか。

建設理事

デザインマンホールというものが、それをカードにしたものを発行している自治体もある。今後、担当課と協議していきたい。

教育委員会部門

外国人高度人材移住事業とは

木村議員

新しく外国人高度人材移住事業で、企業の見学ツアーを計画しているということだが、この外国人高度人材の位置づけは。

教育委員会事務局長

外国人高度人材の位置づけについては、マレーシア国で、特に優秀な生徒に対しては、国費で派遣している。そういった生徒を集め、県内、町内の企業等に訪問して、今後の就職活動などにつなげていきたいと考えている。

雨田光平記念館の今後は

北島議員

雨田光平記念館を廃止することだが、壊すのか他のことで使用するのか、今後、どうするのか。

教育長

雨田光平記念館については、倉庫、収蔵庫の一つとして、現段階では壊さずに使っていきたいと考えている。

不登校の現状と対策は

長谷川議員

中学校の卒業式に参加したところ、空席が多かった。不登校の現状は。

教育長

大きい小中学校においては、不登校が増加傾向にある。

そこで、学校には来れるけれども教室には入れない別室登校のための部屋を準備し、専任の講師などを配置できるよう体制を整えていく。

家庭の事情で不登校になる場合は

長谷川議員

家庭の事情で不登校になる場合もあると考えられるが、どのように対処されているのか。

教育長

家庭の事情の場合、教育委員会だけでの対応は困難であることから、民生部門の子育て支援、児童相談所等とケース会議を行うなどして、対応している。



一般質問

よし だ のり ゆき
吉田 憲行 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

震災への越前町の態勢及び体制について — 自助・共助・公助 —

震災への態勢および体制は

吉田

町の世帯全員が65歳以上の世帯数と総世帯数の何%か伺う。

総務理事

全員65歳以上の世帯は、施設入居世帯を含め、2,258世帯で、全7,309世帯の30.89%を占めている。

吉田

地震に対する町が考える一時的な対応、身構えとしての態勢とはどのようなものなのか、災害での自助という観点も踏まえ、日頃の備え、震災直後の対応について発信をお願いしたい。

総務理事

自助には家族間における非常時の連絡方法の確認や避難時、災害後の生活に必要な物資の備蓄など、あらかじめの備えも含まれており、高齢者世帯にも普及することで、さらに効果的な災害への備えが期待できる。

吉田

統一的、持続的、恒久的な組織としての体制について考えると、特に高齢者の方々にとって災害時での地域住民同士の助け合いは大変必要である。災害が起きたときに情報を共有したり、区住民の手助けとなる自主防災組織の活動状況について伺う。

総務理事

町内には、68団体の自主防災組織が設立されており、防災資機材などの点検整備のほか、防災研修会や防災訓練の開催などの活動を行っている。

吉田

今後、自主防災組織の立ち上げを各区に対してどのような形で推進していくのか伺う。

総務理事

防災に必要な資機材購入費の9割を助成する自主防災組織補助金において、今年度、補助対象物品に備蓄物資などの避難所用品を追加したほか、設立に係る手続の簡略化を行った。今後、複数の自治会による広域的な自主防災組織の設立支援など組織を設立しやすい環境づくりに努める。

吉田

主体となる越前町防災会議とはどのような会議なのか、開催の頻度も含め詳細を伺う。

総務理事

本町の防災会議は地域防災計画の策定、見直しと推進、その他防災や災害対応に関する意見交換など、法令に基づいた審議等を行うため、年1回をめぐりに開催している。昨年9月の会議では、タイムライン防災など、計画見直しの審議や、前年度出され

た課題への取組状況など説明を行った。

吉田

地震専用の災害ハンドブックの作成は？

総務理事

災害時、町民の適切な行動を促すためにも本町においても総合的な防災ハンドブックの作成を検討していく。

吉田

今後の方向性を町長に伺う。

町長

自治会や自主防災組織などと連携し、そして行政の対応力を強化することが重要であると考えている。今後も町民への啓発活動や自主防災組織の設立と活動の促進、災害協定の充実に努め、本町地域防災計画に基づき、自助、共助、公助における体制の強化を一体的に推進していく。



避難訓練の様子





一般質問

いし だ かず お
石田 和朗 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

越前町の財源

ふるさと納税について

登録業者および

上位返礼品は

石田

ふるさと納税は自分たちの故郷、ふるさとでなくても応援したい自治体へ寄附ができる制度である。ここ数年間、カニを中心として様々な返礼品があり、全国から多額の寄附が寄せられている。返礼品の魅力でその自治体を選んでいけるのも実情である。

町は、魅力の発信、地元の特産の販路拡大や活性化を図るため、寄附者への返礼品提供の協力店を募っている。現在、町内の登録業者は何社で、うち特産品の注文を受けた登録業者は何社か。また、どんな特産品が人気か、いわゆる売れ筋上位を伺う。



総務理事

令和6年1月末現在のふるさと納

税返礼品の登録事業者は64社で、そのうち特産品を返礼品として取り扱っている事業者は28社であり、注文を受けている事業者は12社、越前焼11社、越前水仙1社、越前がれい2社、たけのこ2社である。また、選ばれている数が多い返礼品は、令和6年1月末現在で、せいこ蟹甲羅盛り、福井県産いちほまれ、生本まぐろの中トロなどで、主に魚介や海産物、米類が多い傾向である。

石田

行政は、寄附金の返礼品である町内の誇る品々を全国にアピールして、中でも越前がには大きなシェアを占め、ふるさと納税は寄附者の意識次第で増減する要素がある。地球の温暖化等により、越前がにがあまり取れなくなったら、代わりとなる特産品は考えられない。そのために寄附金歳入は減少することになる。多くの住民の方は、越前町は県内の市町でふるさと納税が上位ということとは認識しているが、使い道が分からないとも言っている。町は、広報えちぜんなどでお知らせしているが、活用

町長

した事業の中には、仮に寄附金収入がなかったとしても、当然支出しなければならなかった事業費用に充てられているように感じる。そこで、越前がにに、ブランド品としてタグをつけているようにふるさと納税の使い道にふるさと納税という縛りをつけ、せめて半分、将来に輝く特別な財産として大事に積み立てたらどうか町長のご所見を伺う。

者の方は、ふるさと再生寄附条例に定められている快適で安全に住み続けられるまちづくり事業など、5つのまちづくりのための事業から使い道を選んで寄附をされている。町としては、寄附金を将来に向けた財源として積み立てるのではなく、今後とも寄附をしていただいた方の思いを形にすべくまちづくり事業に活用し、住みよい魅力ある町の実現に向けて尽力していく。



本町へのふるさと納税による寄附額は、昨年度が8億7,900万円、本年度も10億円を超える寄附をいただいている。寄附金の半分は返礼品などふるさと納税の推進に必要な経費として、残り半分を翌年度以降の子ども医療費の助成や高校生の通学定期購入費助成、出産育児祝い金などの子育て支援、空き家活用の助成や定住促進などの人口減少対策など、様々な事業に活用している。活用した事業については町のホームページや広報誌で公表している。ふるさと納税は、自治体を応援したい、力になりたいという思いでいただいた納税者からの寄附を自治体側が施策に反映させる制度で、寄附



一般質問

なかにし きよし
中西 清 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

自然大災害への備えについて

被害状況は

中西

今回の能登地震による被害はあったのか。

総務理事

町における被害は、転倒によるけが人1名、家屋の一部損壊と設備被害が各1件、事業所における設備被害が1件確認されたが、道路、漁港、水道施設等や町が所有、管理している施設への被害は確認されていない。

中西

町として、避難警報を放送する以外にどのような対応をしたのか。また、具体的な状況を把握し、今後の対策などの検討を行ったのか。

総務理事

地震発生後、職員が役場に参集し、町災害対策本部を立ち上げ、防災行政無線放送により避難の呼びかけを行ったほか、避難所開設等を行った。現地では、職員が避難所を運営するほか、現場状況の報告等を行った。しかし、道路混雑の予防、避難所にお

観光地にぎわい創出公衆トイレへの改善について

公衆トイレの改善は

中西

越前地区には十数か所の公衆トイレがあるが、和式便器のみや施設も古く、汚れたところもある。地区内のトイレについて維持管理の範囲、清掃等の担当について伺う。

産業理事

現在、越前地区には町管理の公衆トイレが13か所あり、そのうち5か所を農林水産課、8か所を商工観光課が担当している。清掃作業は越前町シルバー人材センターに委託し、トイレ内のほか、屋外や周辺の清掃を週に二、三回の頻度で行っており、特に海水浴シーズンは回数を増やしている。

中西

公衆トイレも昨今の生活様式に合わせ、洋式便器、ウォシュレットへの更新や多機能トイレの整備を進めてはどうか。

町長

洋式化については、便器が複数あるトイレは少なくとも1つを洋式に

中西

外壁補修や消毒液などの衛生品の備え付け、道路への案内板を設置してはどうか。

町長

海岸線は強風や高波などで外壁等を破損することがあるが、公衆トイレの修繕等については、ふだんから早めの対応を心がけている。提案の便座の消毒用品や道路案内板の設置は、消毒等の衛生用品は管理の面から新たな設置は考えていない。道路案内板は公衆トイレの箇所が多く、屋外広告物の規制や設置場所などの課題もあることから対応は難しいと考えている。今後、公衆トイレと認識できるよう分かりやすい標示板の取り付けなどを検討していく。町としては、今後も越前町を訪れた皆様に気持ちよくご利用いただけるよう維持管理に努めていく。

一般質問



たか だ ひろ き
高田 浩樹 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

最新の将来推計人口についての見解

将来人口の課題と対策は

高田

昨年12月、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が公表した当町の将来推計人口では、人口減少、超高齢化、生産年齢人口の減少などが示唆されていた。これらについて当町の課題と対策を伺う。

町長

社人研の将来推計人口によると、2020年、当町の人口が2万118人に対し、2045年は、1万3,131人に減少し、生産年齢人口割合は44%、高齢者人口割合は47%になる見込みである。
財源の減少による行政基盤の弱体化、担い手不足の深刻化が課題である。人口減少対策で自治体でできる施策として、子育て支援、定住促進策が有効であると考えている。

長期的な視点での財政運営は

高田

長期的な視点での財政運営について、町長の所見を伺う。

町長

ふるさと納税の拡大など財源確保策を図るとともに、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合により、40年間で延床面積を30%縮減するなどの対策を講じていく必要がある。
町税や地方交付税などの減収を把握し、財政調整基金の確保と町債残高の抑制を図り、歳入に見合った堅実で持続可能な財政運営に取り組んでいく。

町が行うキャンプ場などの整備等について

これまでの経緯は

高田

悠久ロマンの杜にキャンプ場を整備していく計画があるが、これまでの経緯について伺う。

産業理事

悠久ロマンの杜は、旧織田町にて、1992年から1998年にかけて総工費14億円で整備され、現在、主にかやぶき棟やコテージ棟での宿泊事業を行っている。
2023年、当時の指定管理者から指定取消しの申し出があり、新たな指定管理者として応募のあった3社の中から、㈱オーデオテクニカフクイ（以下・同社）に決定した。

整備のあり方、契約内容等は

高田

キャンプ場などの整備のあり方、契約内容、企業としてどういった事業の一環なのか。

産業理事

同社が作成した提案内容で可能なものを、当町が総額約1億円（3年間）かけてキャンプ場などを整備していく。
同社と当町とは、2024年度から5年間で協定を締結。当町は、指定管理料等で、毎年1,000万円程と、それ以外に協定に基づく備品購入や改修、施設全体の老朽化に伴う修繕費等を負担していく。

今後の利用見込みは

高田

どのような稼働率や利用者数を見込んでいるのか。

産業理事

同社の計画では、5年後の2028年度は、年間の総利用者数は、7,250人。かやぶき棟は稼働率26%、コテージ棟は稼働率22%、新たに設置するキャンプ場は稼働率10%を見込んでいる。

町民への周知や説明は

高田

町民の暮らしとは、直接的に関わりのない施設整備であるからこそ、より丁寧な説明が伴うものと考えているが、どのように周知や説明をしているのか。

町長

必要に応じて周知や説明を行っていききたい。

慎重な検証が必要ではないか

高田

民間企業との連携のあり方には、様々な形やグラデーションがあ

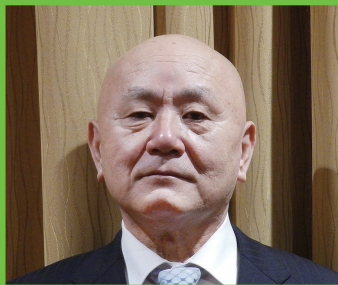
る。
今後、想定される厳しい財政状況を含め、慎重な検証が必要だと考えるが、町長の所見を伺う。

町長

今回の悠久ロマンの杜の整備は、お客様へのサービス向上と、何度も足を運んでいただけるような施設とするため、総合的観点からキャンプ場などを整備することにした。
新しい指定管理者による施設運営は、これまでにない斬新な提案や発想で、この施設だけでなく、地域を盛り上げてくれるものと期待している。



一般質問



よね ざわ やす ひこ
米沢 康彦 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

ふるさと納税の3年間の実績と今後の対策について

寄附額の実績は

米沢
3年間のふるさと納税額（寄附額）の実績を伺う。

総務理事

寄附額は、令和3年度が4億9,433万円、令和4年度が8億7,933万円、令和5年度（令和6年2月20日現在）が10億1,996万円ほどを見込んでいます。

寄附額増加の要因は

米沢
ふるさと納税額（寄附額）増加の要因の見解を伺う。

総務理事

ふるさと納税額が増えた主な要因として、コロナ禍における巣ごもり需要があったが、越前がに朝市などのイベントでの呼びかけ、ポータルサイトやSNSなどによる情報発信なども増額の要因だと考える。

ふるさと納税の展望は

米沢
今後のふるさと納税の展望を伺う。

町長

北陸新幹線福井開業により観光客の増加が見込まれることから、体験型の返礼品の開発、越前がにや越前焼などの本町のブランド品のさらなる発信を通して、これまで以上に寄附をいただけるよう努めていきたい。

地域交流施設の建築について

事業費や施設に入る団体などは

米沢

本町では、2022年の公共施設等総合管理計画の改定により、2061年度までに公共施設等の延べ床面積を3割減らすことを打ち出した。一方、今回の当初予算では、見た目も豪華な地域交流施設が建設される予定である。

そこで、当該施設の構造、延べ床面積、費用や坪単価、施設に入る団体について伺う。

総務理事

建造物の構造は鉄骨造り2階建て、延べ床面積は1,169㎡である。全体の事業費は7億5,883万円であり、そのうち建築および外構の費用は6億9,809万円、坪単価は178万円となる。

建物の1階に朝日コミュニティ、2階に商工会朝日支所と西田中区が入る予定である。

将来の町民にとって有意義な施設になりうるのか

米沢

当該施設の建設には合併特例債などが使っても、維持管理などのランニングコストは全て町民の負担であり、それらは将来にわたり負担し続けていくことになる。

そこで、地域交流施設が将来の町民にとって素晴らしい施設になりうるのかどうか、町長の見解を伺う。

町長

建設予定の場所は、朝日地区コミュニティ活動拠点であり、地域や商工業者の交流促進、地域活性化を図ることを目的とした施設である。

本町には様々な公共施設、社会資本施設があるが、例外なく町民の負担がある。財政状況が厳しい中ではあるが、10年先、20年先の高齢化や人口減少社会を見据えたとき、現在の区単位での集会施設の維持管理は困難になると考えられ、新しい時代のまちづくりの拠点として地域の核となる施設になるものと確信している。

る。

米沢

私は、当該施設が現存する町民、将来の町民にとって有意義な施設になるとは考えられない。近くには本庁舎、生涯学習センターやカメラアホール、朝寿殿がある。

財政が苦しいということで、公共施設等の縮減方針を出しているのに、関係者から「この施設をやめよう」という声が、私たちに聞こえてこなかったことが残念に思う。





一般質問

木村 繁 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧ください。



小中学校体育館エアコン設置について

体育館のエアコン設置は

木村

全国の公立小・中学校の普通教室へのエアコン設置率は、2022年9月時点で95%、体育館の設置率は11%であり、自治体に多額の財政負担がある。埼玉県草加市では、2022年度末までに32ある全ての小・中学校の体育館でエアコンの整備が終わっている。財源には総務省の緊急防災・減災事業債が活用されている。そのほか、環境省の地域脱炭素移行再エネ推進交付金を活用している市町もある。県内では、坂井市や南越前町で設置計画がある。そこで、当町においても、国などの補助制度を活用しながら、町内小・中学校の子供たちの熱中症リスクの軽減を図る観点から、体育館へのエアコン設置に対して取り組むお考えがないか、また、今後の展望・方向性について町長の所見を伺う。

町長

現在、町内12の小・中学校におけるエアコンの設置率は、普通教室100%、特別教室については、小学校が50%、中学校が78%である。小学校

国・県道における融雪装置の整備促進について

木村

県への重要要望書にも取り上げられている宮崎地区、一般県道鯖江織田線の榎津寺区間並びに国道365の舟場八田間については、生活道路、産業観光道路として広域的に重要な役割を果たすとともに、日常生活において必要不可欠な路線である。急勾配、急カーブが多く、特に冬期間には山間部での降雪、積雪の影響で、通行上極めて危険であり、毎年、幾度となく交通事故が発生をしている。そこで、この2つの路線の融雪装置整備促進に対する国・県の進捗状況と今後の取組について町長の所見を伺う。

町長

県道鯖江織田線榎津寺間においては、消雪水の確保が困難であるため、グルーピング舗装によるスリップ対策や、路面凍結防止制御装置の設置など、これまでに様々な対策が取られてきたことは承知している。県営中山間地域総合整備事業により、陶の谷地区では、農業用水を有効活用するため、反復ポンプで循環させた用水をためる排水槽2か所を整備し、令和3年度より供用開始されて

いる。

また、八田新保地区においては、農業用ため池が改修され、令和2年度より供用が開始されている。農業用水は、消雪水に利用されている実績もあることから、今回整備された施設の利用も十分に考えられる。これらの状況も踏まえ、施設管理者である土地改良区との協議と水量確保の検討を進め、引き続き県に強く要望していく。



国道 365 舟場～八田区間



一般質問

こまつ たかひろ
小松 高宏 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧になりたい方は、
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

災害に対する備えと対応

鍵ボックスの設置は

小松

能登半島地震発生後、大津波警報が発表され、多くの方が指定された避難所や高台に迅速に避難したため、津波そのものによる被害は、東日本大震災と比較すれば少なかったと評価できる一方、新たな課題も見つかった。県外では緊急避難先に指定された小学校の鍵が開いていなかったため、外階段を使って3階まで避難するという事態が発生した。こうした避難所の事態を解消するため、新潟県村上市では、震度5弱以上の揺れを感じると、自動で開錠される鍵ボックスを導入している。東日本大震災を契機に普及を進め、現在では市が直接管理する小・中学校27校に設置されている。我が町においても、津波を想定したハザードマップや、津波対策10か条の作成や周知などの活動を各種行っていると認識しているが、新たな対策を随時行っていく必要性も感じる。今後、町において鍵ボックスを設置する意向、さらに町内に指定されている29か所の避難所における耐震基準の適否について伺う。

町長

鍵ボックスの設置については、今回、避難所の開錠が迅速にできなかったことから、越前地区の津波避難場所に指定されている3つの小・中学校に速やかに取り付けた。自動感知方式や遠隔操作方式も検討したが、避難所開設の際には、まずは施設の安全確認が必要であるため、直接操作する暗証番号方式の鍵ボックスとした。令和6年度内に越前地区以外の学校など指定避難所に鍵ボックスを設置していく予定である。

避難所の耐震については、町が指定している学校など29の施設全てが現在の耐震基準を満たしている。



漏水配管の把握とその対策は

小松

地震が発生すれば、避難所への水の供給が寸断される可能性は極めて高い状況である。水は、人が生活する上で必要不可欠なものであり、防災の観点からも、避難所付近の漏水配管の把握とその対策を早急に講じていく必要があると思うが町長の所見を伺う。

町長

水道管の漏水については、今年度から対策に着手し、特に有収率が低い宮崎、越前地区の管路9.13キロメートル、給水736戸分について漏水調査を実施した。今後、令和10年度にかけて漏水調査を行い、判明した箇所については、早期に修繕を行っていく。また、令和6年度から耐震化工事計画の準備を進め、避難所や公共施設、病院に至る基幹管路と浄水場や配水池等の耐震化工事に向け、国の交付金等の財源を確保していく。

新たに取り組む予定の防災計画は

小松

災害時における安定した生活水の供給は特に重要であるが、ほかに新たに取り組む予定の防災計画等があれば伺う。

町長

新たな計画等については、今回の対応を教訓にして、津波時における職員初動対応マニュアルを既に作成し、初動の充実を図った。また、生活用水対策について、水道管直結型で容量40トンの耐震性貯水槽が朝日東部1号公園内に設置されていることから、住民への給水方法の具体化について、今後実施要領を作成する。さらに、町内には消雪装置用をはじめ事業所、家庭用など多くの井戸があるため、生活用水の確保策として、これらの把握と、所有者の協力により、防災用井戸として活用できるように進める。

今後は、この経験を踏まえ、地域防災計画をさらに実行性の高いものに充実させ、町民のさらなる安全・安心の確保に努める。

一般質問

は せ がわ まさ え
長谷川 眞恵 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧ください。
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

UPZ内の安定ヨウ素剤事前配布について

事前配布は

長谷川

2011年の原子力発電所の事故をきっかけに、もし事故が起こったらという不安が頭をよぎり、あるいは原子炉設備の劣化や人為的ミスなどがあつた場合、避難計画どおりみんなが無事避難できるのかと思う。そのような事態に備えて、安定ヨウ素剤を配布することは、甲状腺がんを防ぐ可能性があるため、住民の命を守る上で必須事項であると考え、嶺南地方では、希望すれば条件つきではあるが、安定ヨウ素剤を持つことができる。嶺南同様、次の一定条件を有する住民に、安定ヨウ素剤の事前配布をお願いしたい。

- ① 妊婦・授乳婦・乳幼児を含む未成年者
- ② 障がいや病気などにより速やかに避難することが難しい者
- ③ 緊急時に、一次集合場所等配布場所への立ち寄りが遠かったり、行くのが困難であると思われる者
- ④ ①と②の同居家族の方。

町長

福井県では、原子力災害に備え安定ヨウ素剤を準備し、県のほかPAZ、UPZ圏内の市町に備蓄している。町では、錠剤4万9,000錠、ゼリー剤660包を役場と各コミュニティセンターに備蓄し、全町民分を確保している。備蓄された安定ヨウ素剤は、通常、県から服用が指示された際に、市町を通じて対象住民に緊急配布することとされているが、

国では、予防的な即時退避実施の可能性がある地域、学校や公民館の配布場所での受け取りが困難な地域においては、事前配布を行うことができるとしている。これを受け県では、事前配布は嶺南地域のPAZ居住者全員とUPZ居住者のうち12歳以下、妊婦・授乳婦、障がいや病気により速やかな避難が困難な方と、これらの家族を対象としている。一方で、全域がUPZに含まれる本町では、避難開始時において、国・県の順で伝えられた指示に基づき、対象者に配布し、服用の指示を行う。配布時には、医師または薬剤師の立会いが必要とされており、町では、コミュニティセンターなどの拠点施設で配布する計画としている。このように、本

町における現行の緊急配布方式では、薬剤の使用期限はもちろん服用指示、副作用対応など全てが行政のコントロール下において行われる。避難に関しては、PAZでは事故後速やかに予防的な即時退避が行われるが、UPZにおける避難は、事故発生から一定程度の時間経過後となる。嶺南地域のPAZにおいては、事故後速やかな安定ヨウ素剤の服用が必要となるが、本町では、時間的な余裕が見込めることから、町が指定する配布場所ですべて安定ヨウ素剤を受け取ることとなる。事前配布は国の方針に基づき、県下で統一された方式であるため、今後見直しがあつた場合には、しっかりと対応していく。

長谷川

今一度、防災はどうあるべきか、原子力の事故と重なったとき、どのような事態になるのかを予想し、できる最善のことを検討していただけるようお願いする。UPZ内事前配布に係る費用は、国の原子力発電施設等緊急時安全対策交付金、内閣府原子力防災担当から人件費も含めて100%全額支出される。子供たちや逃げるのが困難な方を守るため

に、率先して事前配布するようお願いしたい。



一般質問

かさ はら ひで き
笠原 秀樹 議員

一部を抜粋して掲載しています。
全文・映像をご覧ください。
こちらをご覧ください。



映像
QRコード



議事録
QRコード

恒久的避難施設の建設について

恒久的避難施設の建設は

笠原

普段は運動公園などに使用し、大雨が降った場合に雨水をためて下流を守る遊水池と同じ発想で、恒久的な避難施設を作ってはどうか。平常時は商業施設にクリニックスを併設し、非常時には商品の提供や、医師による外来をお願いし、会議室としても利用可能な建物にすべきと考える。会議室は、非常時にはパーティションなどでプライバシーが守れる居住空間や、循環式地下応急給水タンクや自家発電施設の設置、ペット専用の室を作ることもある。1か所で被災者全員を受け入れることはできないであろうが、せめて持病を持つ人や災害弱者と言われる人たちだけでも収容できたらと思う。当然、立地場所、建設、運用費などの課題はあるが、被災地の拠点として大きな機能を果たすと考える。避難所は、公共施設がほとんどであるが、能登半島地震では公共施設も被災し、小中高等学校も避難所となり、学期が始まってスタートルームで、市外の学校に集団避難する事態となっている。もし、本部になる役場が、当

然避難所になると機能が麻痺し、救助や復興の妨げとなる。今回の能登半島地震をどう受け止めたのか町長に伺う。

町長

町では、災害被災者の一時居住先として、コミュニティセンター、各学校、町営体育館など29の公共施設を避難所に指定しているほか光道園を含む5施設と災害協定を締結し、福祉避難所として高齢者や要配慮者の避難受入れについて協力体制を整えている。国の基準による計算では、町の避難所の施設面積は、町の人口を十分にカバーできる収容能力があり、町内における避難所は充足していると考えられる。

町内の公共施設の中でも、学校施設は、建物が堅牢な造りで、体育館のつり天井の改修が済むなど、耐震基準を満たしており、中には受水設備に貯水ができる施設もあり、避難所には適した施設である。

議員ご提案の恒久的避難施設の建設は、行政機能の維持、学校の授業再開など災害後における早期の復旧復興を考えると、有効な手段かもしれないが、敷地の確保や取得、建設にか

かる費用の財源確保など課題が多く、費用対効果も考慮すると非常にハードルが高いものと思われる。喫緊の避難所対策においては、既存施設における停電時の対応や井戸水の活用方法、ペットの同行避難対応も含めた長期避難時における体制づくりなどが重要であると考える。

今後、職員の参集や避難所開設の準備、運営、非常食の提供や暖房の確保など様々な課題をしっかりと整理し、今後の災害対応の改善につなげていく。

笠原

我が町が、能登半島と同じ状態になった場合を考えると、今後慎重に前向きに検討しなければと思うが、今回の能登半島地震に対しどうあるべきか町長に伺う。

町長

能登半島地震においては、最悪の条件が重なったことで、このような被害状況になったと認識している。町の防災対策については、毎年の総合防災訓練を行っている。また、町内において、地区による防災組織が立

ち上がっているところが多数ある。その地区地区の独自性を考慮した訓練を働きかけていかなければならない。災害については、常に最悪のことを念頭に置いておくべきと、これからの事あるごとに周知していく。今できることは、町民の防災意識の向上これに尽きると考える。



議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

(12月13日～3月19日)

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会合名	佐々木 議長	藤野 副議長	小松 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	米沢 議員	伊部 議員	笠原 議員	木村 議員	北島 議員	
1	5	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
		議会広報特別委員会	-	×	○	-	-	○	○	○	○	-	-	×	-	-
	26	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	△	-	○	○	
2	5	議員月例会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9	鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会	-	○	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	
	13	公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	
	16	県丹南広域組合議会全員協議会・定例会	×	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	
	19	鯖江・丹生消防組合議会全員協議会・定例会	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	
	20	県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	22	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	○	○	
3	4	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
	6	3月定例会 本会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	7	3月定例会 本会議（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	11	3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	12	3月定例会 本会議（3日目）・全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	13	3月定例会 全員協議会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○	
	14	3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	18	3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	19	3月定例会 本会議（4日目）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	議会広報特別委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-		



表紙の写真

認定こども園あさがお保育園（内郡）

【上段写真】青空のもと、年長児あさがお組の子どもたちが元気いっぱい勢ぞろい！新型コロナウィルスが流行していた当初は赤ちゃんだった子どもたち。今はマスクなしの生活で素敵な笑顔を見せてくれるお兄さん、お姉さんになりました。明るく子どもたちの未来に向けてハイポーズ！

【下段写真】大好きなお弁当の日、クラスのみんなと一緒に食べるとおいしさも倍増！「おいしいね！」「何が入っているのかな？」いろいろな声が聞こえてくるそんな楽しい時間となりました。



議会運営及び地域の振興発展の功労者
笠原 秀樹 議員



議会議員10年以上在職者
佐々木 一郎 議員

自治功労賞受賞

3月定例会終了後、全国町村議会議長会および福井県町村議会議長会からの自治功労賞の表彰状伝達式が行われました。

地方自治の振興発展に大きな役割を果たされてきたことに敬意を表します。



議会議員18年以上在職者
木村 繁 議員



皆さんのご紹介を
お願いします

私たち「トロピカーナ越前」
は、現在、12名で楽しく活動
しています。



活動内容について
教えてください

毎週金曜日の午後7時30分
から、越前コミュニティセン
ターで練習しています。
老若男女、和気合々で楽し
く練習し、各種イベントにも
参加しています。



最後に一言
お願いします

会員を募集しています。音
楽の好きな人なら楽器が素人
でも大歓迎です。お気軽に声
をかけてください。

(インタビュアー 藤野)

お問い合わせ

荒井 典子
090-1310-6761



傍聴席へどうぞ 次の定例会は 6 月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集 後記

新緑の季節を迎え、町民の
皆様、いかがお過ごしでしょ
うか? 4月から新生活をス
タートさせた町民の皆様、も
う慣れたでしょうか?

さて、3月定例会では、最
終日採決において賛否同数
(本文参照) という越前町議
会において初めての経験を重
ねた結果だと思えます。

これからも町民の声を聞
き、議員全員頑張つてまいり
ますので、ご支援とご鞭撻を
よろしく願います。

(米沢)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 長谷川 眞 恵 |
| 副委員長 | 中西 清 |
| 委員 | 木村 繁 |
| | 米沢 彦 |
| | 藤野 信 |
| | 高田 樹 |
| | 小松 宏 |

町ホームページ QRコード  (スマートフォン用)	町LINE QRコード  (スマートフォン用)	町公式動画チャンネル QRコード  (スマートフォン用)
---	---	--

バックナンバーは町のホームページでご覧いただけます
<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

町ホームページ
議会QRコード

(スマートフォン用)